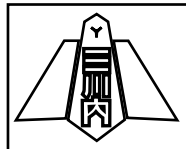


学校だより 令和5年度版

あったか三川内



令和6年3月22日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

令和5年度修了！ ～ご理解・ご協力ありがとうございました～

4月7日（金）令和5年度始業式から今日まで351日間。今年度は、3学期制2年目の年であり、新型コロナウイルス感染症も5月には第5類に移行した年でもありました。そして、何より、三川内小学校創立150周年と言う記念すべき年でもありました。豊かな自然と伝統文化の歴史が息づく本校で、子どもたちは日々の学習に励み、運動場で元気に遊び、給食をしっかりと食べ、友達と力を合わせて掃除や作業をしたりするなど、子どもたちの輝く笑顔と躍動感あふれる生き生きとした姿をたくさん見かけることができました。【あったか三川内】を合言葉に、全校で「あったか挨拶」を心がけ、集団登下校、委員会、クラブ、縦割り班活動など、上級生が下級生に優しく接し、お互いに協力しながら楽しい学校生活を送ることができました。

3学期制の新しい学期区分により、2学期開始の時期や各学期の終了前には、子どもたちの体調を整える時間や校務・評価作業の時間確保のため、短縮日課を実施しました。これも、保護者の皆様のご理解とご協力のお陰です。本当にありがとうございました。今後も、このような日課の短縮を行う予定です。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

4月の歓迎集会・遠足に始まり、5月は運動会、6月からは「WAKUWAKU お話隊」の方による朝の読み聞かせや水泳学習が始まりました。夏休み明けからは「校内夏休み作品展」。全校唐子絵コンクール。漢字読みテスト。縦割り遊び。3年生の小森川探検。4年生のふるさと体験学習。5年生の宿泊体験学習。そして10月からは、6年生の修学旅行。5年生の稲刈体験。4年生の福祉体験学習。授業参観。1・2年生の芋ほり。わかば・すぎな・たんぼぼ学級の子どもの3校合同遠足。3年生のアルカス音楽発表会。三川内陶器市見学。全校読書週間の取組。そして、150周年記念三川内っ子ふれあいタイム。12月の人権集会。クラブ見学。など、多くの行事を無事実施することができました。また、収穫の秋にふさわしく、学力向上に向けての研究授業にも取り組み、算数科学習の研究を深めました。3学期には、給食週間の取組。創立150周年記念式典。ありがとう集会（お別れ集会）、そして第77回卒業証書授与式など、多くの活動を子どもたちは頑張りました。中でも今年度は、創立150周年記念準備委員会を立ち上げ、学校・PTA・地区が協力して、様々な記念行事を行ってきました。子どもたちも、学校の歴史や故郷三川内の「人・もの・こと」を学び、故郷を愛する心を育みました。そして、創立150周年記念品として全校児童で絵付け体験を行い、自分だけの記念絵皿を作りました。三川内っ子ふれあいタイムでは、遊びの達人塾とPTA企画の「ふるさと思い出文化展」も開催でき、地域の方々に喜んでいただきました。更に学校には、新しい校旗と記念絵付け皿の費用をPTAから、ふれあいルームの空調設備を地域の皆様から、大型テレビと電子ミシンをジャパネットホールディングス（株）様から寄贈していただきました。本当にありがとうございました。2月に行った記念式典では、多くの来賓の方にご参加いただき、子どもたちとともに、盛大に創立150周年をお祝いすることができました。

本日の修了式では、上記のような1年間の学びの足跡「あゆみ」を受け取った子どもたちが、成長した晴れやかな姿で修了することができました。本校教育に理解とご協力をいただき、子どもたちを元気に学校に送り出し、励まし支えてくださった保護者の皆様に心より感謝申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。次年度も三川内小学校をよろしくお願いいたします。

